

21. 子ども健全育成・おもちゃ作りによる体験活動

グループ名 エコおもちゃ作り市民塾
代表者 小川 忠夫

1. 活動の目的

最近の子ども達は、道具を使う体験ほとんどしないで、大人になっていく。人間が本来持っている、手と頭を使う本能的な機能を体験することによって伸ばしていく事を目的にした活動である。それは道具を使うことによって、楽しみながら育まれていく。おもちゃ作りを媒体として子ども達に道具を使う場所と機会を与える学校ではできない体験活動をおこない、子ども達の健全育成を目的にしている。

2. 活動概要

活動の内容

- ① 自然の材料、竹材・木材(木端)、木の実などを使うおもちゃ作りを子ども達に教えた。
- ② 小刀、のこぎり、ハンマー。簡単な電動工具を使い、自分で考えたおもちゃなど等具体的な創作に取り組んだ。
- ③ 親子の交流、親子、シニアの3世代間の交流など行った。

具体的な活動

① 夏休みの活動

吹田市夢未来館 夏休み宿題づくり
吹田市博物館 夏季展示における科学工作
公民館における木端細工工作

成果・その他

- ① 対象子ども人数 計 645 人
- ② 活動した拠点 24 拠点
- ③ 参加したボランティア数 120 人

3. 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000
支出	ボランティア交通費補助 400円×120人	48,000
	おもちゃ材料費 2,000円×24回分	48,000
	印刷インク代	4,000
	合計	100,000

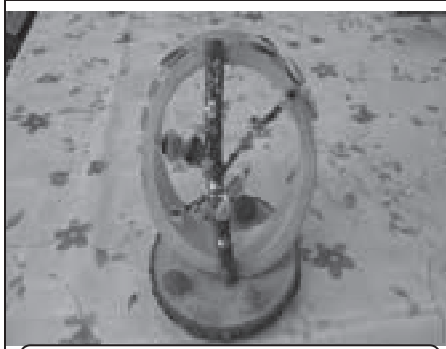
その他の収支(参考)

収入	自己資金	152,650
支出	講師料 5,000×24回分	120,000
	加工機材購入 ハンドドリル	8,500
	のこぎり盤	13,050
	卓上ボール盤	11,100
	支出合計	152,650

大同生命厚生事業団助成 活動写真集

エコおもちゃ作り市民塾

	<p>参加数 30名 スタッフ 8名</p> <p>科学工作 教室</p>		<p>参加数 45名 スタッフ8 名</p> <p>紙ヒコー キ大会</p>
<p>7月13日 夢つながり未来館</p>	<p>7月26日 博物館</p>		
	<p>参加者数 25名 スタッフ 6名</p> <p>科学実験 教室</p>		<p>参加者数 20名 ス タッフ 6名</p> <p>木端細工</p>
<p>7月27日 夢つながり未来館</p>	<p>7月27日午後 千三公民館</p>		
	<p>参加者数 53名 スタッフ 8名</p> <p>木端細工</p>		<p>参加者数 40名 スタッフ 8名</p> <p>木端細工</p>
<p>7月28日 亥の子谷コミセン</p>	<p>8月2日 東山田公民館</p>		
	<p>参加者数 30名スタ ッフ数 8 名</p> <p>木端細工</p>		<p>参加者数 35名 スタッフ 8名</p> <p>木端細工</p>
<p>8月3日 岸二公民館</p>	<p>7月27日 吹六公民館</p>		



参加数
28名
スタッフ
6名
木端細工

8月7日 山手公民館



参加者
31名
スタッフ
8名

8月10日 東佐井寺公民館



8月7日 内本町コミセン



参加者数
45名
スタッフ
8名

8月15日 博物館



8月17日 博物館

参加者
40名
スタッフ
8名
折りぞめ
教室



参加者数
25名
スタッフ
6名

8月19日 大阪大学



8月21日 博物館

参加者
43名
スタッフ
7名



参加者数
150名
スタッフ
10名

8月23日 夢つながり未来館